

第三者継承で新規就農(福井県大野市 きむら牧場)

- ◆ 離農した酪農家の施設や設備を第三者継承。
- ◆ 将来的には、自家製乳製品の製造など6次産業を目指す。

経営状況

- 夫婦での酪農経営。
- 自給飼料に加えて、近隣耕種農家の生産した稲WCSを利用。
- 受精卵移植による和牛子牛生産にも取り組む。

(令和8年1月時点)

品目	頭数・面積
乳用牛	19 頭
飼料作物 (イタリアンライグラス)	1.2 ha
和牛子牛生産	(令和7年度)1頭



新規就農までの経緯

- 畜産大学を卒業したのち、北海道の牧場で勤務している時に、大野市の酪農家が離農することを知り、第三者継承を検討。
- 福井県奥越農林総合事務所や大野市など関係機関の支援のもと、施設等の譲り受けに関する手続きや就農計画の作成を進めた。
- 経産牛11頭を購入し、令和6年4月から経営を開始した。

今後の目標

- 増頭
- 自ら搾った生乳からバターやソフトクリームなどの加工品を製造し、地元で販売したい。